



京都部会(第18回)

日 時: 2013年3月8日(金)19:00~21:00

場 所: 同志社大学 良心館

参加者: 上畑直久(御池中学校)、西村理(同志社大)、川上敏和(同志社大)、下村和平(山城高校)、
中藤 強(嵯峨野高校)、柳 史郎(安曇川高校)、絹川温子(同志社大)【順不同】

【内容要旨】

- (1) 経済教育ネットワークの篠原総一代表者が北海道の稚内で実施されたワークショップに出席のため京都部会には不参加であった。そのため、西村理が代わって、8月に開催予定の「先生のための夏休み経済教室」の日時と場所および講演内容などについて報告した。
- (2) 続いて、上畑直久氏より「消費生活と経済のしくみ」についての社会科学習指導案が示された。この指導案は、以前に上畑氏が京都部会や大阪部会で報告された際に、部会の参加者から出されたコメントに対する改善案になっている。学習の目的は、「契約」の概念を通して各個人の権利や利益が保障されることを理解させると共に、他方それぞれに発生する責任やその重要性を認識させることにある。生徒たちが学習を通して、最終的に「信頼」の大切さまで踏み込んで理解できるようになれば、この学習の目的を果たしたことになるという結論で締め括られた。
- (3) 続いて、川上敏和氏より筑波経済学演習で配布されたマイクロ編とマクロ編の問題に対するコメントが紹介された。

(文責: 西村理)

次回開催予定: 2013年5月24日(金) 19:00~21:00 (同志社大学 良心館)